

今帰仁村の人口

昭和50年7月31日現在	
男	5,500
女	5,556
計	11,056
世帯数	2,721

広報 なきじん



第 12 号

編集発行 今帰仁村役場
今帰仁編集委員会
TEL.098056-2101
沖繩高速印刷
TEL.(0988)32-5513



さあ夏休みだ 計画的に学習を

もう夏休み子供さんたちが一年のうちで最も長い休日、自由の野山、海に親しむ季節です。

夏休み期間中はいままですべて学校で学んだように規則正しい学習とは異なり、子供さんたちに与えられた自由な時間、日程を自分自身で決め、行動のできる期間です。

そこで大人は子供さんたちの行動に常に気を配りながら、安全に計画的に日程をとっているかを観察し、有意義な夏休みを過ごさせましょう。

特に山、海、川に出かけ自然と親しむことは、子供さんに安全を確かめて行動をとり、安全を確保する必要があります。

思います。
夏休み中における子供たちへの注意事項
○休み中は健康保持に努め飲みもの、食べものに充分気をつけ、睡眠時間は十分に、夏に流行する伝染病に

かからないようにしよう。
○海水浴は指定された場所で行い、一人見守りしないように、生きた学習資料となるようにしよう。

対にしないように。
○車に気をつけ、歩道を歩き、横断するときは左右を確認してから渡りましょう。
○自転車の二人乗りはやめましょう。
○外出する時は行先、帰宅時間、用件等を両親に話し夜間外出はしないように。
○見知らぬ人のさそいや乗車は絶対にしないように。
○海洋博覧会は家族と同伴で行い、一人見守りしないように、生きた学習資料となるようにしよう。

くいのない夏休みに

今帰仁中学校1の3 照屋 初子

もう夏休みも終わりに近づいた。先生の手から成績表が渡されたことが、ついでにこのあいだのよう思われてならない。

成績表を手にかかえ、今年の夏休みは、中学に入学校の前とは違った。夏休みのすべし方をしようと思った。

それなのに、その決心は一週間ならず終わってしまった。毎日が、決心したのか、しなかったのか、わからないようなことになってしまった。

部活動も同じようなものになっちゃった。仕事も勉強も、はりあいがなくてどうしたことだろうと、自分ながら心配になるくらいだった。

陸上部の練習が始まったけれど、これも結局三日ばかりで終わった。やる気のない毎日を送っているうちに、宿題がどさり、つもってしまった。

一日一日、出校日が近づくと、心はあせるばかりで、いつか片づかない。

つい、ついでに夜までくちやななくなってしまった。ねむい目をこすりながら、やっと仕上げた時のほれやかな気持ちは、何とも表現



できないものだった。そんないかげんな過ごし方をした夏休みの過ぎた日々が、もったいないような気持ちになった。

中学校として、ほんとに最低の形で終わった夏休みだった。もっと細かい計画を立てて、行くべきだった。わたしは、最初の中学の夏休みに、いを残してしまつた事をとても残念に思います。さういふことを二度とくり返したくない、と心にちかいました。



産業まつり

越地、20カ年連続100%納税



単価がアップしたため、セリにも熱が入る

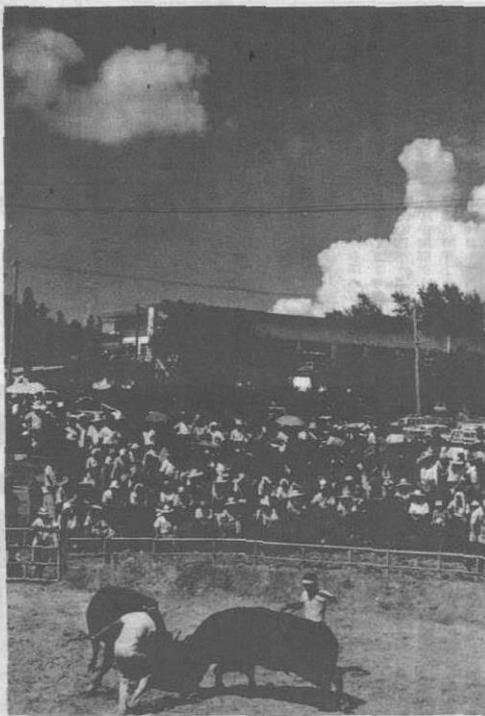
セリ値、にわか上昇

農業立村として今帰仁村のイメーシ実績を村内外に向け、アピールするための産業まつり、村役場主催、農協、商工会、北部製糖、農協、商工会、北部製糖、

農協立村として今帰仁村のイメーシ実績を村内外に向け、アピールするための産業まつり、村役場主催、農協、商工会、北部製糖、

で、一匹百二百円のものが入り、セリ値も上がった。第二日は家畜セリ市、百九頭出場、内八十八頭が成立、二十一頭不成立、頭立牛の一頭平均価格は六百三十八円七十銭とセリ値もさがる五月十日のセリ値より十六円四十銭とわずかながら上昇を示した。

第三日は産業まつりの最終日、役場議会ホールにて、昭和四十九年度の納税表彰式が行なわれました。今治区をはじめ、兼次、諸志、仲尾次、越地、謝名、玉城、興我山、湧川、渡喜仁、上運天、運天などが一〇〇%納税区として表彰。特に越地区は二十九年連続一〇〇%納税区として表彰され、「二りつばな成績」として各々の注目を浴びていました。



す、村民の協力により健全な財政運営をしていますが、と各区分長さんにお話を述べました。

午後二時から産業まつりの締めくくりとして闘牛大会が開催され、五百余人の闘牛ファンが会場につめかけました。

炎天下、会場は熱気に満ちあふれ、黒い巨体がぶつかり合うのを、手に汗を握りながら勝敗を見つめていました。

ちあふれ、黒い巨体がぶつかり合うのを、手に汗を握りながら勝敗を見つめていました。

産業まつり盛り上げに闘牛大会も盛大に催された。

さとうきび黒穂病は世界各地で発生しているが、昭和三十五年頃には栽培されていた栽培地が減少している。栽培地が減少している。栽培地が減少している。

現在栽培されている発病品種NC0310とNC0376の二品種であるが、

松田村長は「納税は義務であるが、このような良好な成績になるには並々ならぬ努力が必要。税務所から本村は優良事例とされている。

村民の協力により健全な財政運営をしていますが、と各区分長さんにお話を述べました。

ちあふれ、黒い巨体がぶつかり合うのを、手に汗を握りながら勝敗を見つめていました。

黒穂病、NC0310に発生多し 株出しの更新必要

株出しの更新必要

その後POJ1272、5、その他の抵抗性品種の普及がないが、昭和四十五年には八重山と沖繩本島中南部で次々と罹病基(黒穂病になったさとうきび)が確認されました。その間、本村はさとうきび黒穂病の無病地区として一部を除いて温度の高

部から黒色の塊状物が出る。罹病基は健全基に比較して小さく、葉身、葉脈が小さく、莖長や節間が長く、いわゆるススキ状に細長く、後に枯死し、原料基

心葉部や展開葉に付着してそこで発芽、植物体へ侵入するとみられる。ほかの一部分は土壌中に落ち、新しく発芽する幼苗に、感染する。

心葉部や展開葉に付着してそこで発芽、植物体へ侵入するとみられる。ほかの一部分は土壌中に落ち、新しく発芽する幼苗に、感染する。

心葉部や展開葉に付着してそこで発芽、植物体へ侵入するとみられる。ほかの一部分は土壌中に落ち、新しく発芽する幼苗に、感染する。

1、病徴
黒穂病の病徴は葉の先端

2、伝染
胞子は風によって飛散するとともに水によっても他の地域へ移動する。

3、防除方法
①罹病基は胞子が飛散しないように穂頭部を切り取ってビニール袋につめる。残った基は根ごと掘り取り、

②古株を更新する。
③施肥前に苗を五十二度で十八分間、温湯消毒する。

以上のとおり本村では黒穂病のまん延予防をおそれ、農家は圃場を巡回し、本圃場の撲滅に努めて下さる。さとうきび栽培は沖繩農業の基幹作物として重要な地位を占めており、これに脅威を与える黒穂病の撲滅により、さとうきび産業を振興しましょう。

なお、黒穂病を認識した際には、経済課又は農協にご連絡下さい。

キンギョの即売会は子供たちに人気があった

